

(様式3)

自己評価結果票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>基本理念の中に「地域とのふれあいを通じ地域社会に貢献する」と掲げてあり、グループホームが地域の中にありその場に生活がある。」ということスタッフ一人一人が理解し取り組んでいる。</p>	
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>職員会議で説明している。フロアーの見やすい所やスタッフルームに基本理念を掲示し日常のサービスに反映できるように日常的に話し合える機会を持っている。また、理念に基づいた5つの約束を毎朝の朝礼で唱和しスタッフの意識を高めている。</p>	<p>管理者は新任職員研修で基本理念を説明し共有できるようにしている。</p>
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>地域の方々が見学に来られた際には説明している。また、家族様の面会時に目にとまりやすいところに掲示したり、運営推進会議、家族会を通し説明している。</p>	<p>運営推進会議事録・家族会議事録を見やすい場所に掲示しているので見学時・面会時にいつでも閲覧できる。</p>
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>ホーム前公園の掃除・近隣散歩・買い物時に声をかけあったり会話をしたり交流する場面がある。</p>	<p>近隣への散歩や地域ボランティアの方が来られることでホーム外の情報など楽しく交流されており刺激になっている。</p>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>地域自治会に加入しており、自治会行事である公園掃除・お餅つき・盆踊り・お祭りなど積極的に参加交流している。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>ホーム行事での音楽コンサートの案内や地域の方のホームボランティア参加など受け入れを行なっている。</p>	
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>管理者が会議で第三者評価を受けることの説明をしスタッフ全員が自己評価票に目を通し会議で話し合い日々のサービスに反映させている。</p>	<p>スタッフ全員が評価票に目を通し記入することで改善に取り組もうとする意識を持っている。</p>
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回開催しホームからの報告に終わらず包括支援センター・自治会メンバー・家族代表・知見者から広く意見をもらいサービスの向上に取り組んでいる。</p>	
9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議での包括支援センター職員の参加があったり、会議以外にも情報交換する機会がある。</p>	
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修などで学ぶ機会を持っており、ご家族様とも必要なら活用を支援している。</p>	
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>新任研修、全体会議の中で説明している。虐待に関しての外部研修にも積極的に参加しカンファレンスで報告したり、また、毎週Drの往診があったり面会も自由にできることで外部チェックが働き虐待防止に繋がっている。</p>	<p>研修の参加や職員の虐待に対する意識の向上に取り組んでいきたい。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居前に十分説明し質問できる時間をとっており、納得して下さっている。</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>管理者が入居者様と話が出来る場面を多く持っている。また、面会時に入居者様ご家族様に意見を話されることがあるため管理者およびスタッフは家族様との話ができる場面を多く持っている。</p>	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>ユニット入り口にスタッフの名前入り顔写真を掲示している。面会の際に十分時間をとり近況報告をしたり、毎月手紙に写真を添え現状報告をしている。緊急時にも必ず報告し生活記録に残している。</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会者は1階事務所前を通るため管理者と話ができる場面がある。ご家族様がいつでも訪問できる環境づくりができていますので、入居者様の暮らしぶりがいつでも見ていただける。各階入り口に苦情窓口、担当者名を記載し掲示している。</p>	
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎月のリーダー会議・職員会議などでスタッフの意見を聞く機会を持っている。</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>重度な入居者様への入浴介助や通院介助で通常より多く必要な場合はスタッフを1名多く配置するなどしている。</p>	<p>現在のように柔軟な対応ができるように努めていきたい。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>18 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>入居者様の不安を軽減するためスタッフを固定し顔なじみのスタッフでの支援に努めている。また、行事などで他ユニットスタッフと気軽にかかわり馴染みの関係が作れるようにしている。</p>		
<p>5.人材の育成と支援</p>			
<p>19 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修計画を作成し施設内での研修、施設外へ研修への参加を啓発指導している。基本理念に「日々研鑽」とあり毎日の業務の中から学んでいく姿勢を指導している。</p>		<p>新任研修・現任職員へは内部研修のほか外部研修などの参加案内など情報提供を促し参加後の報告書を提出しカンファレンスや職員会議で報告するようにしており職員のレベルアップを図れるように今後も取り組んでいきたい。</p>
<p>20 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>状況に応じ他地域のグループホームとの交流を図るように努めている。スタッフ間でも他グループホームでの実習・勉強会に参加し自己のレベルアップと向上に取り組む姿勢がみられる。</p>		
<p>21 職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>管理者はスタッフと常にコミュニケーションをとり意思疎通を図り気軽に相談し話しやすい環境を作っている。</p>		
<p>22 向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>毎年1年間の目標を各707-・職員各自が立案しその目標に対しての成果を評価している。また、会議での勉強会・外部研修会への参加などを行い職員のレベルアップを図っている。</p>		<p>職員の向上心を持ってもらえるように今後も努力し取り組みたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>ホーム見学時、入居申込み時、入居前の生活状況を情報収集し生活されてきた環境を確認している。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>ホーム見学時、入居申込み時、入居前の生活状況を情報収集しご家族様の困っていること・要望などを話しやすい環境をつくり受け止める努力をしている。</p>	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご本人の状態などをお聞きしてその時に必要な支援の対応をしている。</p>	
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前に見学に来て頂いたり、入居後の生活に備え生活習慣などを担当ケアマネジャーなどからも情報収集し入居後居心地のいい場所になるように家族様と相談し工夫している。</p>	<p>入居のダメージがないように十分に情報収集をおこない今後も配慮していきたい。</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>食事づくりや外出、毎日の作業を一緒に行いながらともに過ごす環境が出来ている。また、スタッフは入居者様と同じ目線で話し、話しを受け止めるように心掛け互いにありがとうの言える関係が築けている。</p>	<p>ご家族様の面会でホーム内や外出だけではなく一緒に調理など取り組んでいただけるような環境を作りたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	<p>利用者を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会に来られたご家族様と相談しながら常にご家族様と共に入居者様への支援を進める。</p>	
29	<p>利用者と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの利用者と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>訪問時には出来るだけ会話していただいたりイベントのお誘いしたり入居者様とご家族様が交流できるよう働きかけたりしている。また、電話や手紙のやり取りが出来る環境がありスタッフは入居者様との会話を通じ本当の気持ちをつかみご家族様に話しをすることでよい関係を持続し支援に努めている。</p>	
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>ご家族様の理解を得ながら入居者様の友人・知人の面会や電話・手紙のやり取りをいつでも可能としている。</p>	<p>外出などにはできるだけ馴染みの場所を取り入れ馴染みの人との関係を継続できるように取り組みたい。</p>
31	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>スタッフが入居者様の状況を把握しておりトラブルにならないように配慮しながら入居者様同士のかかわりを支援している。</p>	<p>入居者様同士の関係がうまくいかない場合はスタッフが介入し対応している。</p>
32	<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>退居された後も手紙、はがきのやり取りをしている。た、サービスの利用に至った方には面会に頂いている。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居者様との会話の中で本人の意向の把握に努めたり、センター方式での情報を基にご本人の思いや希望に添えるように努めている。困難な場合は、ご家族様からご本人様の生活歴を伺いご家族様の意向も取り入れながら本人本位に支援している。</p>	<p>入居者様・ご家族様・管理者・計画作成担当者・スタッフで今後も話あいを持ち進めていきたい。</p>
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>生活歴や入居前の生活状況など得た情報をスタッフ全員で共有したり、入居後にもご本人からの聞き取りやご家族様からの聞き取りから情報を把握するように努めている。</p>	
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>入居者に様々な作業をお願いする中で一人ひとりの持っている力を把握し個々のペースに合った過ごし方をしていただけるようにしている。</p>	<p>入居者様お一人ひとりの持てる力が発揮出来るようにスタッフ一人ひとりが観察力を高め入居者様個々の良い生活が出来るように努めたい。</p>
2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>センター方式の利用と入居者様、ご家族様との会話から希望や意見を聞きカンファレンスで話あい検討している。</p>	<p>入居者様やご本人様との関わりをもっと深めどのような支援ができるかを考え介護計画書に反映させたい。</p>
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>毎月1回見直しをおこない介護計画書に反映させている。対応の出来ない変化が生じた際には状況にあわせ本人や家族様の希望をいれ毎月のカンファレンスでサービスの変更検討を行なっている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個人記録には詳しく記入しスタッフが情報を共有するために医療ノート・申し送りノート毎月の健康管理表などわけて記入しておりカンファレンスに活かし介護計画書に反映させている。</p>	
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>1階にディサービスがありディサービスでのイベントに参加させてもらっている。また、外出・外泊・ご家族様の宿泊など柔軟に対応したり、医療面でも入居前のかかりつけ医療機関に通院・受診したりできている。</p>	<p>外出時に車椅子をお貸ししたり外出先までのタクシー利用など柔軟に対応している。</p>
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40	<p>地域資源との協働</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>地域ボランティアの方々と共に絵手紙・書道・音楽療法・レクリエーション活動を行っている。また、地域行事にも協力を得ながら参加している。ホーム隣保が児童館になっており子供たちとの交流もある。</p>	
41	<p>他のサービスの活用支援</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>在宅に戻られる場合は、入居前の居宅介護支援事業所の担当ケアマネジャーに相談しサービスが途切れることがないように支援している。ディサービスのイベントに参加させていただき交流を図っている。</p>	<p>入居前にディサービスを利用されていた入居者様も多く入居したことで楽しみが減少しないようにディサービスひまわりの家利用者様との交流を図れるように支援をしていきたい。</p>
42	<p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>運営推進会議に包括支援センターの職員が参加しており相互に情報交換している。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居時に入居者様ご家族様に入居前のかかりつけ医への往診・通院や受診回数の希望を聞き入居後もかかりつけ医の医療が受けられるように柔軟に対応している。協力医院からは毎週1回往診がある。</p>	
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>専門クリニックからの定期的な往診と必要に応じすみやかに受診し対応している。また、往診時、電話での相談もでき協力が得られている。</p>	<p>専門医との協力を継続し柔軟に対応できるように取り組みたい。</p>
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>看護師を配置しており日常の健康状態の変化に対応できる環境がある。入居者様のかかりつけ医への連絡や協力病院への連絡調整は看護師がおこない介護職員へ細かな指示がだされている。</p>	
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>退院に向けてご家族様、入院先病院の医師との説明に看護師、管理者も参加させていただいている。看護サマリー・医療情報提供書など頂き得た情報をおし退院後の生活支援方法を検討している。</p>	
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化及び看取りに関する指針を入居時、家族会で説明しご家族様、ご本人との話あいからご希望を聞き共有している。緩和ケアの対象の方もおられ、病院とのつながりを密にし毎月通院したり、電話での病状報告を行なっている。</p>	
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>ご家族様、ご本人の意向を聞き要望を受け入れながらホームで出来る限りの栄養管理・衛生管理など健康管理を行いかかりつけ医との連絡を密にし変化に対応できるようにしている。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49 住み替え時の協働によるダメージの防止 利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	グループホームから他への移り住むことに対し十分に話あいを行ったり、情報交換を行いご本人の生活にダメージのないように努めている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入職時に守秘義務についての説明と書類への記入がされている。また、職員会議や職員に対し施設内での約束事を作成し毎朝確認することで入居者様への配慮を心掛けている。個人記録の保管は施設できる場所で管理している。		毎朝ホームでの決まりごとをスタッフ全員で確認することで職員に意識改革に繋げていきたい。
51 利用者の希望の表出や自己決定の支援 利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	必ずご本人の希望を確認し希望に添えるようにしている。また、ご本人のペースにあわせわかりやすく説明しご本人が納得できるように支援している。		
52 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様一人ひとりの意向や希望はセンター方式を活用している。生活の中で入居者様の希望を取り入れ、自己決定していただけるように取り組んでいる。入浴については、時間を決めず夕食後に入られる方もおられ柔軟に対応している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	入居者様の希望をお聞きし地域的美容院への付き添いで出かけた日日常の服を選んだり外出時にも服を選ぶなど希望に添った支援をしている。		近隣的美容室への利用が無理な方には訪問美容を利用されておられる。その際、髪の毛の長さを伝えられたりその方の希望にあった支援ができていますので今後も取り組んでいきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		<p>入居者様から好みの物を聞きながら時には献立を変更して対応している。季節ごとの行事を大切にしその時季のものを取り入れるようにしている。</p>
55	<p>利用者の嗜好の支援</p> <p>利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		<p>その方の得意なことや役割を活かせるような場面を日常生活の中で食事づくり・洗濯物干し・洗濯物たたみ・花のみずやり・掃除などの役割を入居者様の身体状況にあわせ支援している。季節折々の行事も入居者様の声を聞き楽しく参加出来る様にしている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>入居者様の希望によりお金もち買い物に行かれる。金銭管理の難しい方の買い物はスタッフが現金をお渡ししご自分で支払っていただけるように支援している。</p>	<p>今後できるだけご自分でお金を渡し支払いができる機会を増やしていきたい。</p>
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>年間行事計画を立て季節の変化を感じてもらえるように入居者様の意向を聞き散歩・買い物・外食・地域行事参加・コンサートなど希望に添った支援をしている。</p>	<p>散歩など戸外に出る機会を今以上に増やしたい。</p>
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>コンサートに出かけたり、ご家族様との外出・外食など出かける機会がある。</p>	
63	<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>家族・友人に手紙・はがきのやりとりをされておられる。また、入居者様専用電話がありいつでも電話ができる環境がある。</p>	
64	<p>家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>	<p>隔日・毎週面会に来られるご家族様があったり学生時代の友人が面会に来られたり気軽に訪問できる環境がある。施設行事・誕生会などにご家族様への案内行なっている。</p>	<p>面会に来られた際に長時間過ごしていただける環境があるので今後も継続していきたい。</p>
(4) 安心と安全を支える支援			
65	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>職員会議において説明がありスタッフ全員で認識し共有している。</p>	<p>内部研修のほか外部研修で学ぶ機会があり全体会議などで報告し共有できるように取り組んでいる。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>居室・玄関・エレベーターは開錠しており、入居者様が自由に入出りできるようにしている。職員研修の中で話し徹底している。</p>	<p>安全・安心した生活を送っていただけるように今後も心がけ取り組む。</p>
67	<p>利用者の安全確認</p> <p>利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	<p>日中はスタッフが一緒にいることで入居者様の様子を把握し夜間は細めに見守り安全に配慮している。</p>	
68	<p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	<p>ハサミ・針などはスタッフで管理させていただいているが、希望すればいつでも使用できる。スタッフが気をつけることで危険を回避している。</p>	<p>危険な物を取り除くのではなくできるだけ</p>
69	<p>事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	<p>入居者様に身体状況を把握し危険を予測し事故防止に努めている。また、職員研修をおこないスタッフ全員で意識を高めている。</p>	
70	<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	<p>看護師より研修の場で応急処置の対応の説明がある。緊急時の対応方法を記載した物が見やすいところに掲示されている。</p>	<p>地域の方、職員を対象に心肺蘇生法を学ぶ機会を設けている。定期的を開催していきたい。</p>
71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>夜間想定消防訓練を行なっている。緊急連絡体制を整え対応できるようにしている。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている</p>	<p>入居者様の身体状況をご家族様にもリスク面の話しをさせて頂き協力と理解を得ている。</p>	
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>毎日パルチェックを行い体調の変化を細かく記録し異変の発見に努めている。異変発見時は看護師に伝え看護師からかかりつけ医や協力医院へ連絡し報告している。</p>	
74	<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>入居者様が服用されている薬については用法や用量を注意できるようにファイルしている。看護師による管理体制がある。</p>	
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>食事摂取量・水分摂取・体操・散歩など身体を動かすことを積極的におこなうように努めている。</p>	<p>入居者様の個々にあった運動をみつけ継続しおこなえるように取り組む。</p>
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>入居者様にあった歯ブラシを使用してもらったり自分でできる方にはして頂いている。スタッフの中に歯科衛生士の資格にある者がおりその方にあった口腔ケアのやり方を学べ実施している。また、食事前の嚥下体操も行なっている。</p>	
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>入居者様個々にあった食事形態で摂取していただき摂取量を確認している。常に水分補給に心掛け支援している。健康状態の変化がみられる場合は職員間で検討し委託業者との相談で対応している。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	看護師が職員会議で説明し手洗い・うがい・換気など徹底している。また、洗面所での手洗いが出来ない方には手浴を実施している。		職員も手洗い、うがいを徹底し健康管理を促している。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食器は食器乾燥機にかけ、まな板布巾などは漂白をおこなったり徹底し衛生管理に努めている。毎日冷蔵庫のチェックを行い賞味期限切れの者がないようにし管理している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	グループホームの各ユニットの玄関には季節の花や入居者様の作品を飾っている。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用場所には入居者様の作品を飾られている。3階はリビングから山並みが見え季節の変化を知ることができる。できるだけ自然の風をいれたり食事時はテレビを消しBGMを流し心地よく過ごしてもらおう工夫をしている。ホーム内の温度・湿度はその都度入居者様の状態をみて尋ねながら管理している。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用場所には入居者様によってはお気に入りの椅子がありその場で過ごされたり入居者様同士が思い思い過ごせる場所がある。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居前に使用されていたタンス、ベット、仏壇、大正琴、茶道具などを持ち込んでいただき環境の変化での入居のダメージを少なくする配慮をしている。ベランダで花を育てていたり・ホーム前の公園の景色を眺めたり気分転換ができるような環境がある。</p>	
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>毎朝の掃除時は窓を開け換気を心がけている。また、夜間2時間毎の巡回時に入居者様の状況を見てご本人と確認しながら居室の温度調整を細めに行なっている。リビ</p>	
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>各居室は入居者様の状態にあわせ対応している。また、入居様が盛り付けなどしやすいようにキッチンワゴンを置き自立して行なえるようにしている。</p>	
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>トイレを示す表札をつけたり居室扉は入居者様の目の高さの表札をつけたり各居室内のタンスにはシールを貼り内容物を標記し一人で出し入れできるようにしている。</p>	
87	<p>建物の外周リや空間の活用</p> <p>建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>花壇での花栽培や野菜づくり、各入居者様のベランダでの花づくりをされ水やりをされたり、洗濯物を干されたり、ホーム前の公園の樹木をながめたりされておられる。</p>	

( 部分は第三者評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="checkbox"/> 大いに増えている <input type="checkbox"/> 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> あまり増えていない <input type="checkbox"/> 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="checkbox"/> ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="checkbox"/> ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="checkbox"/> ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

入居者様お一人おひとりがリビングや自室に心地よく過ごせる場所がある。スタッフは生活の中で常に入居者様のできることに着目しながら支援し希望を伺いながらホームが毎日楽しく過ごしていただける場所であるように心がけている。